

ISDA® JAPAN MONTHLY UPDATE

2015年3月

コミッティ活動

REGULATORY: 担当 森田 (tmorita@isda.org) / 洞口 (khoriguchi@isda.org)

取引データ報告

3月24日、ISDAのディーラーメンバーが金融庁と面談し、2月下旬に公表されたISDA TR Paper – “Improving Regulatory Transparency of Global Derivatives Markets: Key Principles”の概要について説明し、複数の法域で取引報告義務の要件を満たす観点から、関連する点について意見交換を行った。

金融庁との会合に先立ち、ISDAは、日々の業務の実態や法域間において今後想定される変更点への順応に対する柔軟性の度合いについての意見をメンバーから募り比較調査を行った。メンバーからの情報については匿名で引用され、同会合で共有された。

3月31日、ISDAは3月25日にISDAウェブサイトで公表した、ISDA's proposal of OTC Derivatives Products Taxonomies v2.0 (UPI)に関する調査を行うとするメモをメンバーに回覧、パブリックコメント受付期間を設け、メンバーからのフィードバックを受け付けている。

ISDAは近日中に、両調査の結果に基づいたミーティングを開催する予定。

電子取引基盤 (ETPs)

3月20日、ETPサブワーキンググループは下記の議題について会合を行った。

- 1) 金融商品取引法に関する内閣府令（平成十九年内閣府令第五十二号）第8条の六のトの関連条項と照らした電子取引基盤運営業務の内容（概要）についての比較検討
- 2) 所轄の監督局との相談状況のアップデート
- 3) 業務方法書、下部規定およびルールブックの進捗状況についてのアップデート

メンバーは4月に開催されるOTC Derivatives Regulations Working Groupで会合の内容を報告することに同意した。

COLLATERAL: 担当 森田 (tmorita@isda.org) / 洞口 (khoriguchi@isda.org)

IMの分別管理・倒産隔離に関する検討会

3月6日、IMの分別管理・倒産隔離に関する検討会メンバーが、信託契約書案の最新版と信託契約の構造の概要を説明するプレゼンテーション資料について検討を行った。契約書案とプレゼンテーション資料は次回のJapan Collateral Committeeで回覧される予定。

メンバーはまた、信託勘定と海外のカストディアンを利用して取引を行う際のIMの分別管理に対応するオペレーションフローについて、担保の種類と取引相手の場所ごとに検討した。

CREDIT DERIVATIVES: 担当 森田 (tmorita@isda.org) / 洞口 (khoriguchi@isda.org)

ISDAは、Japan Determinations Committeeを含む、5地域のDeterminations Committees (DC)の年次メンバー選定の結果を公表した。DCはクレジットデリバティブ市場で発生する事象についてグローバルな決議決定が行なわれる構造となっている。

2015年4月29日より新DCメンバーとして活動を開始する。

TIBM Definitions Update: 担当 洞口 (khoriguchi@isda.org)

3月23日、ISDAはTIBMの新定義に対応するため、2015年4月より適用されるSupplement (#47) to the 2006 Definitions を公表した。<http://www.isda.org/publications/isda2000def-annex-sup.aspx>にて閲覧可能。

コミッティ並びに作業部会会合/コンファレンスの予定

Japan Collateral Committee (日本語による会議)	4月9日
IM Segregation Working Group (日本語による会議)	4月13日
OTC Derivatives Regulations Working Group (日本語による会議)	tbd
Data and Reporting Japan Trade Repository Reporting Working Group (日本語による会議)	tbd
Client Clearing Legal Opinions (日本語によるシンポジウム)	4月9日